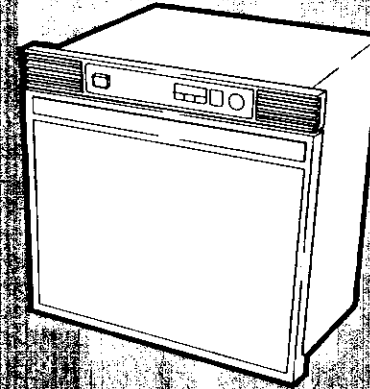
仕　様

種　類	食器乾燥機	乾燥容量	食器6～7人分
電　源	100V、50-60Hz共用	乾燥方式	温風強制送風方式
消費電力	330W	発熱方式	自己温度制御発熱体
外形寸法	幅445×奥行447×高さ477.5mm	本体総重量	約13kg

お客様メモ

後日のためにご記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　　　　電話（　　）　－

ご購入年月日　　平成　　年　　月　　日

株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)3502-2111

4-C6965-7

J5(H)

取扱説明書

HITACHI

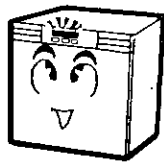
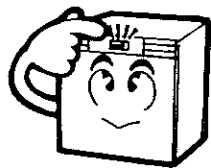
日立食器乾燥機 (システムキッチン組み込みタイプ)

KFD-452SK-B (引き出し形)

もくじ　ページ

このたびは日立食器乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

特　長

1 乾き具合をセンサーでキャッチ
センサー乾燥コース

2 お好みに合わせて選べる
4つの運転コース

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解や修理・改造の禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警　告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない。
- 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

定格15A以上のコンセントを単独で使う。
- 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
- やけど、感電、けがをする恐れがあります。

水につけたり、水をかけたりしない。
- ショート・感電の恐れがあります。

⚠ 注　意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
- 感電やショートして発火することがあります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
- 感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない。
また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工しない。
- 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

交流100V以外では、使用しない。
- 火災・感電の原因となります。

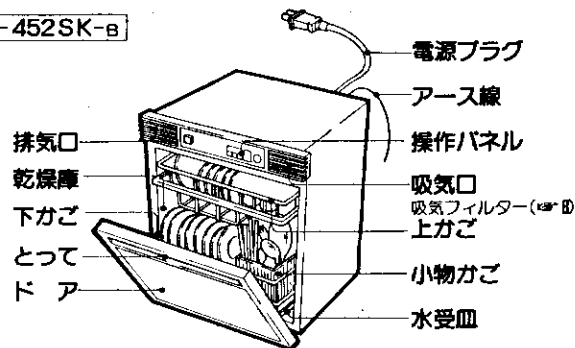
ガスコンロなどの炎や熱気のあたる場所におかない。
- 火災の原因になります。

長時間ご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜く。
- 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

使用中、使用直後は内部が熱いのでさわらない。
- やけどの恐れがあります。

各部のなまえ（☞のあとの数字は、主な説明のあるページです）

KFD-452SK-B

電源プラグ
アース線
排気口
操作パネル
乾燥庫
吸気口
吸気フィルター（☞8）
下かご
上かご
とって
小物かご
ド　ア
水受皿

操作の手順（「センサー乾燥」で乾燥）

●各コースのランプは、運転中は点滅し、一時停止またはドアを開けたときには点灯になります。

準　備（食器を庫内にセットします）

1 ドアを開けます。	2 かごを本体より引き出します。	3 食器をかごにセットします。（☞7） ＊食器の水切りを十分行ってからセットしてください。	4 かごを元のとおり本体に押し込み、ドアを閉めます。
	（KFD-452SK-Bの下かごはドアと一体です）	●水切りが不十分ですと、食器からのしずくが床面に落ちる場合があります。	●ドアの中央を持って確実に閉めてください。

1 電源スイッチを「入」にする

自動的に「センサー乾燥」コースにセットされます。

2 スタートボタンを押す

運転が始まります。

●運転中にドアを開けますと、自動的に一時停止の状態となります。運転を再開するときはドアを閉め、スタート／一時停止ボタンを押してください。

食器を取り出す

⚠注　意

使用中、使用直後は内部が熱いのでさわらない
●やけどの恐れがあります。

●フッソ樹脂加工をしていないフライパンなどは早めに取り出し油をひいてください。
＊放置するとさびが出ます。

操作パネルのなまえとはたらき

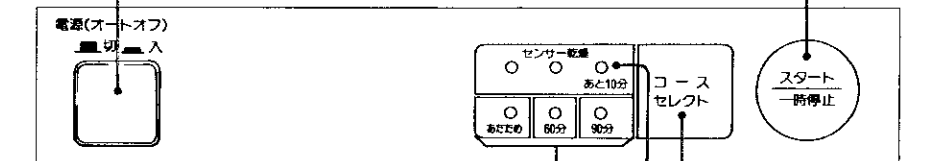
電源スイッチ

押すと入になります。
●運転が終了すると5分後に自動的に「切」になります。

スタート／一時停止ボタン

運転をスタートさせるときや、一時停止させるときに押します。

電源（オートオフ）
■切 ▬入

センサー乾燥
あと10分
あたため　60分　90分
コース セレクト
スタート
一時停止

手動コース

食器のあたためや一定時間だけ乾燥させたいときに使います。（☞6）

センサー乾燥コース（センサー進行表示ランプ）

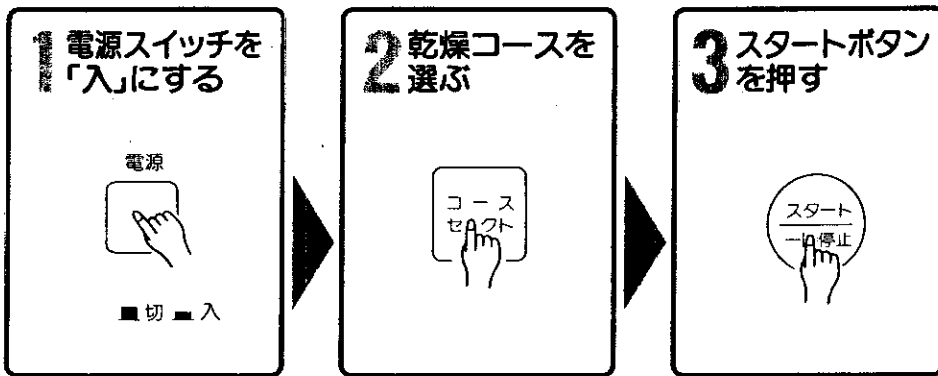
乾燥状態をセンサーで検知し、乾燥が終了すると自動停止します。
●乾燥の進み具合いに従って、ランプの点滅が順次右へ移動します。

コースセレクトボタン

お好みに応じて4種類の乾燥コースが選べます。
●電源スイッチを「入」にすると、自動的にセンサー乾燥コースが設定されます。ボタンを押すごとにランプの表示がセンサー乾燥→あたため→60分→90分と切り換わります。

終了ブザーが気になるとき

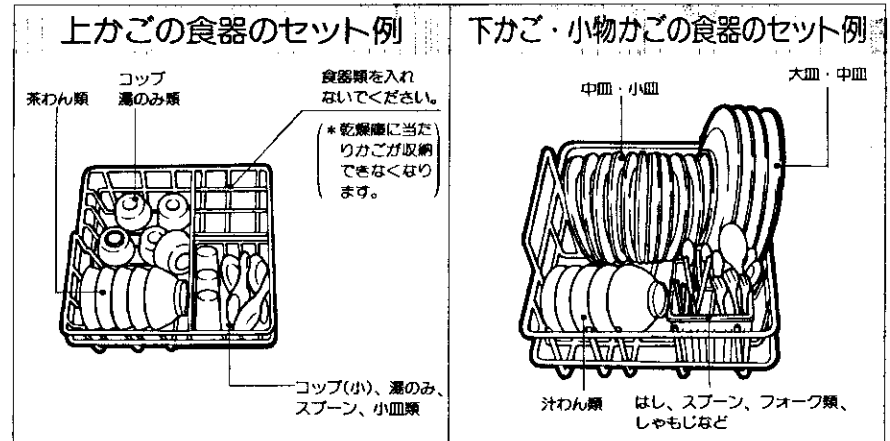
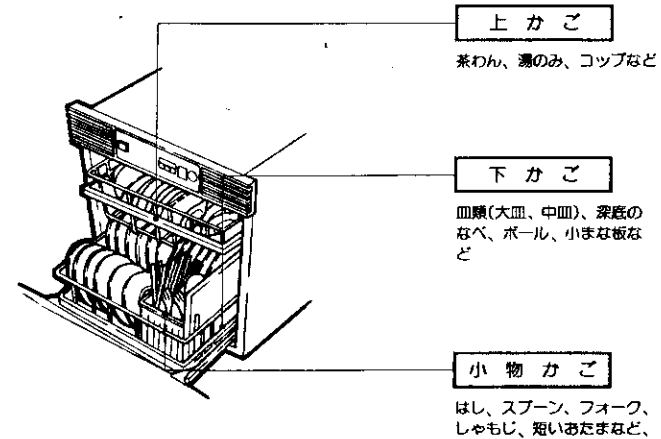
ドアを閉め、電源スイッチを「入」にしたあと、スタート／一時停止ボタンを3秒以上押すと、終了ブザーは鳴らなくなります。
●再び終了ブザーを鳴らしたいときは、スタート／一時停止ボタンを3秒以上押すと終了ブザーを鳴らすことができます。運転が終了すると、終了ブザーは毎回鳴る状態に戻ります。

いろいろなコースでの乾燥のしかた

●運転開始後は各コースの設定変更ができません。電源をいったん切って入れ直してから設定してください。

乾燥コース	こんなときに	進行内容			所要時間
		送風運転	温風運転	送風運転	
センサー乾燥	自動で乾燥させたいとき	3分 センサーが庫内の温度を検知するための予備運転	センサー運転	10分	約50分
あたため	食器をあたためる目的で使うとき		あたため運転 食器の温度が40〜50℃になるまで		約25分
60分	一定時間だけ乾燥をしたいとき		50分	10分	約60分
90分			80分	10分	約90分

●上の表でセンサー乾燥運転およびあたため運転は、外気の温度が20℃の場合の目安の時間です。
外気温、食器の量により、所要時間が変わります。

食器の入れかた

乾燥用かごは食器に適した形状にしてありますので、食器にあったところに入れてください。
●セットできる食器の大きさは上かごが15cm、下かごが26.5cmのものまでです。

■セット時のポイント

●食器の水切りを十分に行ってからセットしてください。
●食器と食器の間にすき間ができるようにセットしてください。
●小物かごのはし類は、お互いに重ならないようにセットしてください。
●糸底のある場合は、糸底の水をよく切ってからセットしてください。

■一回で乾燥できる標準食器量

大皿19〜26.5cm	6枚	湯のみ	6〜7個
中皿 16〜19cm	7〜8枚	はし・フォーク・ナイフ	7人分
小皿 16cm以下	7〜8枚		
茶わん・汁わん	10個		

お手入れのしかた

水 受 皿

庫内水受皿の水は捨ててください。
＊水がこぼれないよう注意して行ってください。
●乾燥が早く終わり、電気代の節約になります。

水受皿、下かごのセットのしかた

●水受皿は、「マエ」表示が本体前面側になるようセットします。
●下かごは、「小物かご」収納位置が本体前面側になるようセットします。

本 体

■本体外部

ドアやパネル部の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。

■本体内部

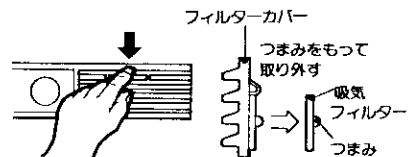
水あかなどで汚れますから、よく絞った柔らかい布でふいてください。

ご注意

●直接水をかけないでください。
●ベンジン、シンナー、クレンザー、ワックス、弱アルカリ性洗剤などでふいたり、たわしでこすらないでください。
＊傷つくことがあります。
●化学ぞうきんをご使用の際は、注意書きに従ってください。

吸気フィルター

吸気フィルターにたまったほこりや、ごみを歯ブラシなどで取り除いてください。

吸気フィルターの取り外しかた

1 パネル部右側フィルターの中間部にあるつめを下に押しながら引きだします。

2 フィルターカバー内に納まっている吸気フィルターを取り外します。

ご注意

フィルターカバーをパネルに取り付けるときは吸気フィルターを必ず取り付けてください。
フィルターを取り付けないと、内部にほこりが侵入して、故障や乾燥の仕上がりが悪くなる原因になります。

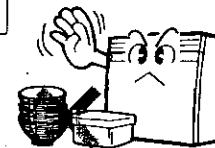
使用上のご注意

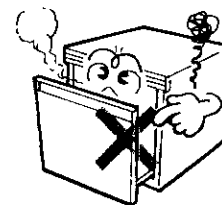
アース線を必ず取り付ける。

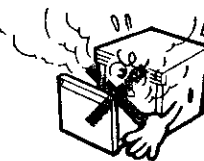
万一の感電事故を防ぐためです。
詳しくは別冊の「据付工事説明書」をご覧ください。

次の食器類は乾燥しないでください。

耐熱表示（80℃以上）のないプラスチック製食器
＊熱のため変形することがあります。

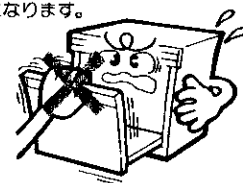
高級漆器
＊塗り面が熱のためひび割れします。

運転中にドアを開けた場合は、なるべく早く閉めてください。

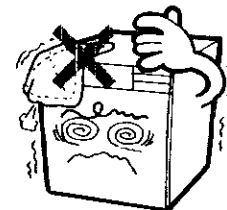
＊内部の温度が下がり、乾燥性能が悪くなります。
＊一度ドアを開けますと運転が一時停止の状態になります。
再運転する場合はドアを閉めてスタート／一時停止ボタンを押してください。

運転途中でドアを開けたまま放置しないでください。

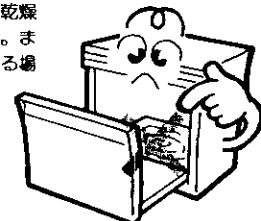
＊次の運転時、短時間で運転が終了し乾燥不十分になることがあります。このような場合は再運転を行ってください。

操作パネルに水をかけない。

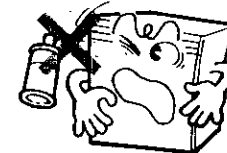
●感電や故障の原因になります。

ドアに無理な力を加えない。

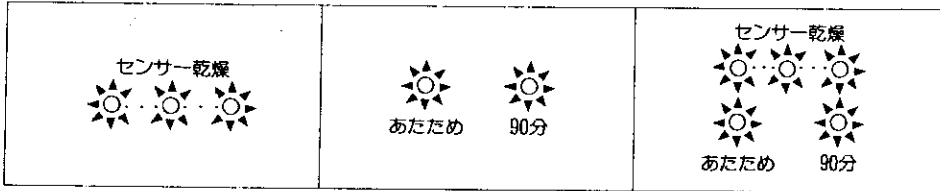
●破損や変形の原因になります。

吸、排気口はふさがない。

●乾燥が不十分になるおそれがあります。

水受皿に残水を残さない。

●残水がありますと乾燥効率が低下します。また槽内面に結露する場合があります。

運転中に揮発性の引火物を近くで使用しないでください。

＊火災の原因になります。

困ったときに

異常報知について

乾燥機能に異常が生じた場合は、ランプの点滅やブザーでお知らせします。
使用を中止してお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

●いずれの場合もブザーが15秒間鳴り、電源スイッチが切れるまでランプが点滅します。
ランプの点滅は、通常運転時の点滅より早くなります。

電源オート・オフ

運転が終了して、5分たつと電源スイッチは自動的に切れます。また次の状態で放置されると、電源は自動的に切れます。
1．異常報知の状態で15秒～60分以上放置されたとき。
2．一時停止の状態、またはドアを開けた状態で60分以上放置されたとき。

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください。

症　状	点検するところ
運転しない	●電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●電源スイッチは「切」になっていませんか。 ●ドアは完全に閉まっていますか。
乾きが悪い	●水受皿に水がたまっていませんか。 ●吸気フィルターにほこりが詰まっていませんか。

こんなときは故障ではありません

症　状	原　因
センサー乾燥コースで運転開始後、温風がすぐに出ない。	●運転開始後3分間は送風運転を行い、庫内温度のチェックをしているためです。
ドアの内側に水滴がつく。	●食器の水分が蒸発し付着したものです。

運転中の停電時の対応について

●電源スイッチをいったん「切」にします。停電が回復したら初めからスイッチ操作をやり直してください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

食器乾燥機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙（黄色用紙）「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

10ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	食器乾燥機
形　名	KFD-452SK-B
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

●長年ご使用の食器乾燥機の点検をぜひ！

このようなことはありませんか	●スイッチを入れても、時々運転しないときがある。 ●コードに"ひび割れ"や"傷"がある。 ●運転中に異常な音や振動がする。 ●水漏れがする。　●こげくさい"におい"がする。 ●さわると"ビリビリ"と電気を感じる。 ●その他、異常がある。	▷	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り必ずお買い上げの販売店に、点検・修理をご相談ください。